

保育のおしごと体験記①

R6.8.22 (木)



大分市明野西にある、
明野しいのみ保育園で
保育のおしごと体験を
させていただきました。



保育に入る前に、
園舎内の見学や説明を
させていただきました。
“興味・関心や発達に
応じて遊べるように…”
と考えられた、
素敵な園舎です！



クラスに入ると“どんな遊びをしているのかな？”“なにが好きかな？”と、
子どもの様子を観察しながら距離を縮めていく姿が見られました。

食事介助も体験しましたが、明野しいのみ保育園では育児担当制に取り組
んでいるため、給食も月齢に応じて一対一から一対二。子ども達も安心して
食べていましたよ。食後は自分でお布団へ行き、入眠する姿を見ることもで
きました。

園長先生は「いろんな保育の仕方があるため、体験するとその園の保育観
を感じることができると思う。その意味でも体験は大事ですよ。」と話
してくださいました。



こちらが休憩室！
とっても広くて陽も入って、落
ち着ける空間となっていました。
体験の方もここで手作り給食を
いただきました。
職員の皆さんも、いつもここ
でしっかり休憩をされているよう
です！



体験を終えての感想…

今回、1歳児クラスに入らせていただきましたが、保育士としてこの年齢の子どもと関わる
のは約10年ぶりでした。私自身も少し緊張しており、子ども達も見慣れない大人がいることに
少し不安そうな様子でしたが、クラスの先生から一人ひとりの性格や特性を教えていただき、
それを踏まえながら関わっていくことで徐々に打ち解けることができました。

園では未満児の保育に担当制を導入しているということで、担当制の保育に触れる機会は初
めてでしたが、子どもの精神的な安定に繋がっていたり、保育士の動きを見ながら自ら次の流
れに移ろうとする姿が目に見えてわかり、とても新鮮でした。

保育が終わってから、先生方とお話する機会があったのですが、『働きやすい環境』という
ことをみなさん話されていたのが印象的でした。また、ICTの導入も進んでおり、保育計画やお
たより、勤務表管理など、多岐にわたって保育士の負担軽減につながっているなと感じました。

今回、見学とは違い体験させていただいたことで、仕事をする立場の視点で様々なことを知
ることができ貴重な機会となりました。また、改めて「子どもと関わるって楽しい」と感じ、
保育士の魅力を再認識するきっかけになったと思います。